

# 第41号 C-STEP ニュース

人間を主役にした人材雇用開発



## すばらしき企業との出会いに感謝 ～ダイバーシティカルチャーの構築を～

一般社団法人おおさか人材雇用開発人権センター コーディネーター 高山 義弘

2003年4月より今日まで15年にわたり人権相談やCSR支援活動を行ってきました。また、2008年からは障がい者雇用の実現に向けた活動に特化して、会員企業の巡回を行っております。この間の活動の中で私なりに感じたこと学んだことをお伝えしたいと思います。

私に関わった初期の頃と比較して、今日では障がい者をはじめとした就労困難者に対する会員企業の意識に変化が出て、かなりの企業の取り組み姿勢が積極的になっていることが感じられます。しかしながら残念ですが、まだ多くの企業で障がい者雇用が進んでいない現実があります。できていない大きな理由としては「生産性がさがる」として敬遠する傾向もあります。一方、できている企業は意識改革が進み、トップマネジメントのリーダーシップによって積極的に取り組んでいます。成功して前向きに取り組んでいる、ある企業のトップマネジメントのお言葉として『障がい者を雇用することで顧客サービスが向上する』と語っていただきました。また、収益拡大につながっているのも今後も積極的に採用したいとのことでした。他にも、会社の雰囲気明るくなった、社員のマインドがやさしくなった、人間関係が良くなった、楽しい職場になったと、成功している会社のご意見です。成功している企業の共通点は「相手の立場に立って考え行動する」「互いの違いを認め合う」ことを会社全員で実行しています。

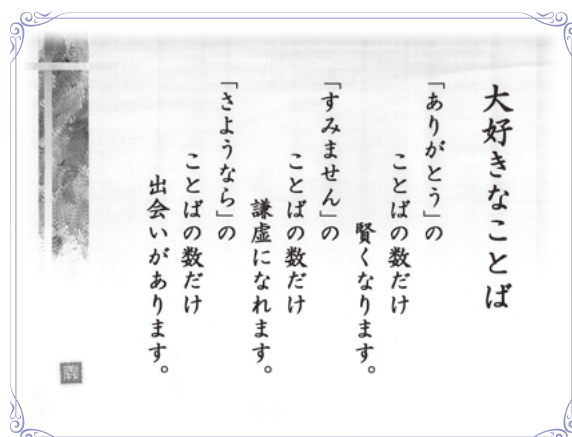
成功の秘訣としては、互いの長所を見つけてそれを伸ばすこと、個性を伸ばすことにあります。障がい者と一緒に仲間意識を持って仕事することで楽しい時間が過ごせるのが最大のメリットであり、生産性向上につながっています。取り組みスタンスとしては、トップマネジメントのリーダーシップのもと他人事とせずに自分事として捉え実践しています。

少子化時代に突入した現在、従来の常識にとらわれず、新し

い常識を作ることが重要です。違いを認め合った集団（組織）を構築することです。イノベーションをすべきと思います。今後の人事政策として『ダイバーシティカルチャー』の企業文化を取り入れることが望まれます。様々（多様性）な違いのある人間集団を作ることが重要だと思います。

「21世紀は人権の世紀」といわれております。企業の価値観も大きく変わってきました。今、求められているのは、人間（社員）が主役の会社作りです。企業は人なり、5年～10年のスパンで考えるのでは無く、50年～100年のスパンで考えるべきであると思います。他人にやさしい、そして思いやりのある人間の集まり（組織）が原点であり、出発点であるといえます。ダイバーシティマネジメントに向けた組織づくり、職場づくりを構築することが求められています。企業（組織）の価値は、そこで働く人間の質によって決まると言っても過言ではありません。企業に対する信頼度が組織の財産となります。未来型職場作りを構築したいものであります。

私にとって、多くの出会い、多くの貴重な体験は大きな財産です。この場をお借りし、これまで出会った多くの方々、ご教授いただいたみなさまにあらためて感謝申し上げます。



# C-STEP事業

## 人と仕事をつなぐ企業の集い2017を開催しました。

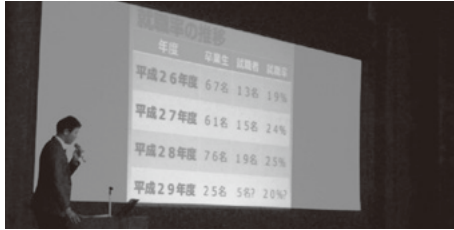
2017年12月7日(木)、大阪府立難波支援学校・なにわ高等支援学校で、「人と仕事をつなぐ企業の集い2017」が実行委員会(大阪府、大阪府教育委員会、大阪市、大阪市教育委員会、C-STEP)主催で開催され、企業の人事担当者、就労支援関係者など約150名の方にご参加いただきました。

今回は「障がい者雇用のさらなる拡大をめざして～働く力の育成現場から学ぶ～」をテーマに、支援学校を見学した後、企業から支援学校等生徒の雇用事例を報告していただきました。



### 開会・第1部 支援学校の見学会

初めに、大阪府商工労働部 道旗雇用推進室長より開会挨拶をしていただいた後、大阪府教育庁より府立支援学校等の就労にむけた取り組みの説明と、難波支援学校・なにわ高等支援学校より各学校の説明、取り組み紹介をしていただきました。



学校説明の様子

その後、6班にわかれて両校の授業見学を行いました。参加者からは「生徒たちが熱心に取り組んでいる姿を実際に見ることができてよかった」などの声があり、知的障がいのある生徒の就労にむけた取り組みについて理解を深めることができました。



校内を見学している様子

### 第2部 企業からの事例報告

「ともに働くということ～図書館編～」と題して、株式会社図書館流通センター大東市立西部図書館 館長の本村明彦さんに支援学校等の生徒の雇用・定着の取り組みについて発表していただきました。図書館業務における障がいのある方の具体的な業務内容や配慮事例など、障がい者雇用に取り組む事業所に大変参考になるお話しをしていただき、参加者は熱心に聞き入っていました。



事例報告の様子

### 実行委員会よりお知らせ・閉会

実行委員会より、就職困難者の雇用促進の取り組み紹介をした後、C-STEP中谷常務理事が閉会挨拶を申し上げ、集いが終了しました。

C-STEPでは企業の集いを通じて、企業、支援学校等、就労支援団体が相互理解を深め、より一層の連携を図ることで、障がいのある方の雇用促進につなげていきたいと考えております。今後もご参加いただけますよう、よろしくお願いいたします。

## 2017年度雇用問題研究会を開催しました。

2018年2月5日(月)、2017年度雇用問題研究会「障がい者雇用と定着支援を成功させるヒント」を大阪市立東成区民センターで開催し、企業、行政、関係団体など合わせて約200名の方にご参加いただきました。

### 開会・第1部 講演「障がい者雇用を進めるために知っておきたいポイント」



第1部の様子

C-STEP井上理事からの開会挨拶の後、大阪労働局職業安定部職業対策課 地方障害者雇用担当官の中塚 毅さんより、障がい者雇用をとりまく施策の動向、支援制度、配慮のポイントなどについて講演していただきました。

### 第2部 座談会「私たちが経験した障がい者雇用～つまずき、気づき、一歩前へ～」

第2部は日産大阪販売株式会社、株式会社ニュージックの障がい者雇用担当者をお迎えして座談会を行いました。初めにC-STEPより事前アンケートのまとめを報告した後、両社の会社概要、現在の障がい者雇用の取り組み内容を発表していただき、続いて、これまでに出た課題やこれから取り組もうと考えていること、事前アンケートからの質問への回答など、初めて障がい者雇用に取り組む企業の方、採用担当になられたばかりの方にも参考になるお話をしていただきました。



第2部の様子

#### 第2部

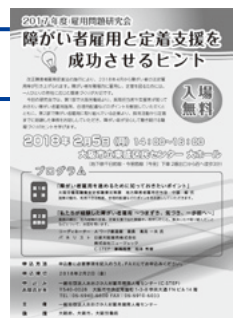
■コーディネーター  
A'ワーク創造館  
館長 高見 一夫さん

#### ■パネリスト

日産大阪販売株式会社  
人事総務部課長 牧野 祥子さん  
人事総務部 島川一彦さん  
株式会社ニュージック  
労務チームマネージャー 中島 吉樹さん  
C-STEP 事務局局長 松本 秀樹

### 閉会

最後に、C-STEP 北口副理事長が閉会挨拶を申し上げ、研究会が終了しました。お忙しい中、ご参加いただいたみなさま、ありがとうございました。



# “C-STEPでは支援学校等の生徒の就労をサポートしています!”

企業実習に向けた準備として、C-STEP事務局内で『模擬職場実習』を実施しています。

## ～2017年度模擬職場実習の取り組みを振り返って～

### (1) 今年の新しい取り組み

(参加生徒数 昨年度54名、本年度56名 1月末現在)

模擬職場実習は、企業での就労をめざす支援学校等の生徒に、就労意欲を育みながら、企業での職場実習に向かう気持ちやスキルを高めていくことを支援していく場です。基本的には右記のプログラムで、担当者がマンツーマンで支援しています。

今年が一番大きな特徴は、これまでの職場実習の体験や希望職種、本人の特性等を聴き取る最初の面談を大切にしながら、実習生の課題状況に応じて、さらに細かなプログラムを実施しているところです。「2回目の実習生向けの実習ノートの作成」や「面接対応プログラムの改定」「ピッキングの種類の追加」などプログラム内容の充実も随時行いました。

### ●2017年度模擬職場実習～3日間の基本的な実習プログラム

1日目(9時～16時)	2日目(9時～16時)	3日目(9時～16時)
・自己紹介、面談、お茶の出し方	・朝、帰りの挨拶	・セミナー(希望職種について)
・実習ノート作成	・セミナー(お給料の使い方、電卓)	・セミナー(ビジネスマナー③)
・拭き掃除(3日間午前A、午後B)	・郵便物確認仕分け、ハンコ日付	・PC作業(エクセルで名刺作成)
・セミナー(働くことは)	・変更(3日間朝かた)	・名刺交換
・作業(ボールペン、クリップ)	・セミナー(ビジネスマナー②)	・作業(ジャンパー袋詰め)
・セミナー(ビジネスマナー①)	・PC作業(ワード入力)	・封筒にシール貼り
・シュレッダー作業	・コピー用紙補充(3日間で3回)	・3日間のまとめの面談と報告
・学校へFAX(3日間で4回)	・ディスクッターでシール切り	
・朝、帰りのタイムカード押し	・振り返り(1、2日目帰り)	

### (2) 今後の模擬職場実習の課題

近年、社会における障がい理解の深まりもあり、大阪府内の支援学校や高等支援学校、共生推進校、自立支援推進校、以外の高等学校において、障がい者手帳を取得している生徒が増えています。2018年4月からは、障がい者法定雇用率が2.2%へと拡大されることもあり、模擬職場実習に参加する生徒に関しても変化の兆しが見え始めています。従来の3年生に加えて、「より早期に自分の特性や希望職種について考えを深めてほしいので、1、2年生で実習を経験させたい」と校内の実習計画の変更を考えておられる支援学校も出てきています。

模擬職場実習を利用していただくことで、障がいのある生徒たちの自立の一助になれば、私たちにとってこれほどうれしいことはありません。

### (3) 終わりに

これまで、障がいのある方々に職場実習や就労の機会をつくってこられている会員企業様はじめ、関係各皆様方にはお礼を申し上げます。

今後も模擬職場実習へのたくさんのエントリーをお待ちしております。重ねて、皆様のお力添えをよろしくお祈いします。

#### ◆お礼の手紙より◆

先日は職場実習で、お世話になり、ありがとうございました。実習ではワード入力、ラッピング、せいそう、チェック表作りなどの作業、言葉づかいや、身だしなみについて、教えていただきありがとうございました。難しかったのは、ラッピングで、きれいに、空気が入らないように、また、しわが上にでないようにすることなどが、難しかったです。あと、品物を出す時の必要なメモもむずかしかったです。しかし、これから〇〇(スーパー)へ実習へ行く際、しわをのぼす、しめるまえに箱の中にゆびを入れて、ラップをできるかぎり伸ばすことを意識して、ラッピングをがんばります。品出しする際のメモをわすれないようにがんばりたいと思います。

## 〈会員のみなさまへ〉～職場実習の受入れをお願いします!～

C-STEPでは、大阪府教育委員会、大阪市教育委員会、大阪府商工労働部就業促進課と連携し、大阪府内の支援学校等の生徒に対する就労支援を行っています。毎週一回の会議では、会員の皆様からいただいた「『支援学校等の生徒』職場実習受け入れエントリーカード」をもとに、実習希望生徒の調整を行い、実習受入れから終了まで伴走型のサポートを実施しています。

### 【実習開始までとその後の流れ】

#### ① 実習希望生徒がエントリーされたら事業所に連絡、受入れ事業所で面談(企業・生徒・教員・C-STEP)

- ・事業所からは、実習の作業内容の説明・見学など
- ・生徒サイドからは、特性や実習時の配慮等の説明など
- ・実習日時の調整。実習期間は1～2週間(実質5～10日間)

#### ② 実習開始

- ・実習中、生徒の様子を見るため
- ・教員・C-STEPスタッフが訪問します。

#### ③ 実習最終日に「振り返り」

- ・できたことや良かったところ、また課題などを振り返ります。
- ・1、2年生の場合、次の職場実習でのステップアップへ。
- ・3年生の場合、就労の可能性を見極め、求人応募にチャレンジします。

■ 障がい者雇用をお考えの企業・事業所は、「職場実習受け入れエントリーカード」をファックスしていただくか、C-STEP事務局までご連絡をお願いいたします。(TEL:06-6940-6600/FAX:06-6910-6033)



## 就職者の声

『会社は社員を大切に、社員同士はお互いを認め合う。そして私達社員は何よりもお客様を大切にする。』を企業理念に、大阪府内に自動車販売店8店舗をかまえるトヨタカローラ浪速株式会社。同社では、2015年度から複数の店舗でC-STEPを通じて知的障がいのある生徒の職場実習受入れをスタートし、2017年4月、2名を雇用しました。採用後は、本社のある店舗で洗車や工場内等の清掃に従事しながら、2ヵ月間の新入社員研修に加え、どこの店舗でも自信を持って働ける洗車スキルを身につけるため、2人を対象に個別の研修を取り入れています。

そのうちの一人、生野店で洗車業務に従事する笹井さん。取材の日もCOROLLAネーム入りのつなぎのユニフォームを着て、元氣よくあいさつしてくれました。昨年4月に就職し、この3月末で1年を迎える笹井さんにお話を伺いました。

工場の戦力として、慣れ親しんだ先輩たちと笑顔でジョークを交わしながらイキイキ働く様子が窺えます。

### ●実習はどうしたか?この仕事に決めたきっかけは?

1年生からスーパーやスポーツジム、C-STEPの模擬職場実習などでいろんな職種を経験しました。とにかくチャレンジ精神をもって!実際に体験してみると、いい企業だなと思っていても自分には合わないなと思ったり…やってみて初めてわかること。だから実習があるっていうのはいいことですね。トヨタカローラ浪速では2年のときも実習させてもらいました。最初は言い方がきついなとビビったところもあったけど、自分のことを理解してくれているな、というのがすごく伝わってきて、先輩たちがみなさんすごくいい方ばかりで、ここで働きたいと思いました。

### ●就職が決まったときの気持ちは

すごく嬉しかったですよ!でもこれで満足してはダメだと思った。洗車を任されたとき、自分は自信があつてできたと思ったけど、先輩からできていないところ、洗い残しとか拭き残しを言われて。謙虚さも必要だなと。

### ●3ヵ月研修があったが、どうでした?

新入社員全員の研修とS君(同期就職者)と二人だけの研修がありました。全員との研修は難しかったけど、休憩時間に話をしたりできました。洗車だけでなく、営業やサービスなど会社はいろんなことをしているんだなということが分かりました。二人の研修では、最初はボンネット、サイドミラーとか言われてもどこか分からなくて車の部位のいろんな名前や基本的なことを覚えました。S君と一緒に洗車をし、二人でどこができる・できていないなどを議論して、どうすれば効率よくできるか話し合ったのも役に立っています。コミュニケーションにもなりました。僕は小学校4年からラグビーをやっているんですが、スポーツでも基本は同じで仕事はチームワークが大切なんですね。だから、チームの一員として相手のことも分かってあげないといけないし、自分のことも分かってもらいたい。3ヵ月間本当にいろいろ話し合っただけで勉強になりました。会社からみんなで参加したアクアソーシャルフェスというボランティアも楽しかったです。

### ●仕事をしてもうすぐ一年ですが、どうですか?

いや~まだまだですね。僕の最大の弱点はスピードです。スピードというのは時間です。それと、最後の詰めが甘い。フロントガ

トヨタカローラ浪速株式会社 笹井 生貴さん  
枚岡樟風高等学校共生推進室(たまがわ高等支援学校)出身

業務内容:洗車、その他、清掃、部品補充、廃棄書類の仕分け(機密書類の分別。名前・住所のあるもの、クリップ外す等。2週間やってもらったときは非常に助かった)できることは結構いろいろある(管理職の方より)。

ラスの内側に少し拭きあとが残ったり。ガラスのコーティング掛けの練習もこれからします。でも、みなさんいい方ばかりで、仕事はもうホントに楽しいです!



先輩の整備士さんたちと

### ●同僚や先輩たちとの関係は?

先輩たちは本当にいい方たちばかりで感謝しかありません。必要などきに、いいアドバイスをしてくれて刺激されています。アドバイスの仕方がすごく上手くて、やる気・モチベーションがあがる。特に竹原さん(現場リーダー)は職場の父のような存在で、りっぱな社員と思ってくれていて激励してくれる。仕事できる環境を作ってくれていると思います。C-STEPさんとか周りからも応援されてすごく働きやすい。あとは自分のできる仕事をまっとうするだけです。それが恩返しだと思います。S君とは働く店舗はちがうけど、今でも休みの日に一緒にご飯を食べに行ったり、仕事の話もします。でも、仲良くだけじゃなくて、う~ん、ライバルっていうか。親から「仲良くよしだけの企業はない」と言われますが、そうだと思います。

### ●嬉しかったことは?

急ぎのお客さんの洗車をしたとき、先輩から聞いたんですが、「お客さんが、“ほんまに車きれいになってるやん!”って言うてたで。」と言われたとき。やった達成感というか、すごくうれしかったです!

### ●困ったことはありますか?

仕事があまくいかなかったときはどうすればいいのか考える。でも先輩たちが声をかけてくれるから、安心して仕事に取り組みます。あと、夏の暑いときに、行き道からちょっとしんどくて熱中症みたい。自分は大丈夫ですと言ったんですが、周りの人たちが見てくれていて、休むように声をかけてくれてよかったです。

### ●工夫していること

自分で考えて日誌を作っています。洗い漏れ、拭き漏れ、ミスしたところなどを毎晩書いています。そこには、できたこと、褒められたことも書いています。これは自分の自信になります!

### ●今後の目標・希望

大型のワンボックスカーを車内の掃除機掛けも含めて20~30分でできるようにしたい。あとコーティングができるようにとかまだまだいろいろあります。働く時間は今は9:30~16:30ですが、もっと遅くまで時間が延びてほしいと思っています。

仕事を通して、より一層車に興味を持つようになった笹井さんは、今年1月、念願の自動車運転免許試験に合格しました。今後さらに業務の幅も広がっていくことでしょう。



編集・発行

一般社団法人 おおさか人材雇用開発人権センター (C-STEP)

〒540-0028 大阪市中央区常盤町1丁目3-8

中央大通FNビル14階

tel.06-6940-6600 fax.06-6910-6033

URL(ホームページ)http://www.c-step.or.jp